

Course number		U-LAS06 20001 LJ41									
Course title (and course title in English)		労働と法 Law of Employment and Labor Relations		Instructor's name, job title, and department of affiliation		Graduate School of Human and Environmental Studies Professor,OBATA FUMIKO					
Group		Humanities and Social Sciences		Field(Classification)		Jurisprudence, Politics and Economics(Issues)					
Language of instruction		Japanese		Old group		Group A		Number of credits		2	
Number of weekly time blocks		1		Class style		Lecture (Face-to-face course)		Year/semesters		2025・First semester	
Days and periods		Mon.4		Target year		All students		Eligible students		For all majors	
[Overview and purpose of the course]											
15回の授業の中で、将来、企業や研究所、役所、学校等に雇用されて働く人や、起業して人を雇用する立場になる人に向けて、職場で遭遇する可能性のある問題に対する法的解決のあり方を14項目にわたってお伝えしたいと考えています。 具体的には、給料や欠勤、残業、内定、昇進、転勤、解雇、年次有給休暇、フレックスタイム、労災、発明者の権利、男女平等、育児・介護休業、パートタイマー、派遣労働者、ストライキ、団結権などを取り上げます。											
[Course objectives]											
将来、企業や研究所、役所、学校等に雇用されて働く際や、起業して人を雇用する際に、職場で遭遇する問題を法的に解決する方法を習得する。											
[Course schedule and contents)]											
1 イントロダクション 2 労働契約関係の成立と終了 3 労働契約上の権利義務 4 労働条件の決定 5 人事 6 賃金 7 労働時間・休暇・休業 8 男女平等 9 育児・介護休業 10 安全衛生・労災補償 11 非典型雇用 12 労働組合・不当労働行為 13 団体交渉・労働協約 14 団体行動 15 フィードバック											
[Course requirements]											
None											
----- Continue to 労働と法(2)↓↓↓											

労働と法(2)

[Evaluation methods and policy]

期末試験により評価を決定します。

[Textbooks]

小畑史子・緒方桂子・竹内(奥野)寿 『ストゥディア労働法第4版』（有斐閣）
労働法関係の法律の条文が掲載されている六法等の資料も持参してください。

[References, etc.]

（References, etc.）

Introduced during class

[Study outside of class (preparation and review)]

いったん理解したつもりでも、表面的な理解にとどまっていると、後から応用ができませんので、
授業で学んだことを復習し、深く理解する習慣をつけて下さい。

[Other information (office hours, etc.)]

質問には、授業の前後にもお答えしますし、時間がなければ日時を決めてあらためてお答えすることもできます。
火曜12時40分～